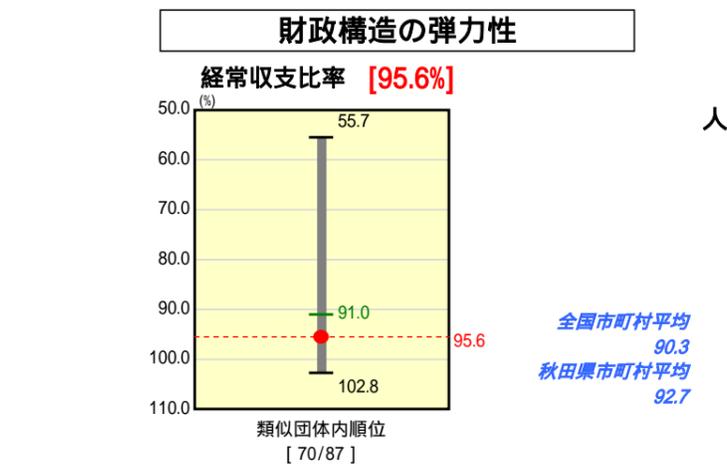
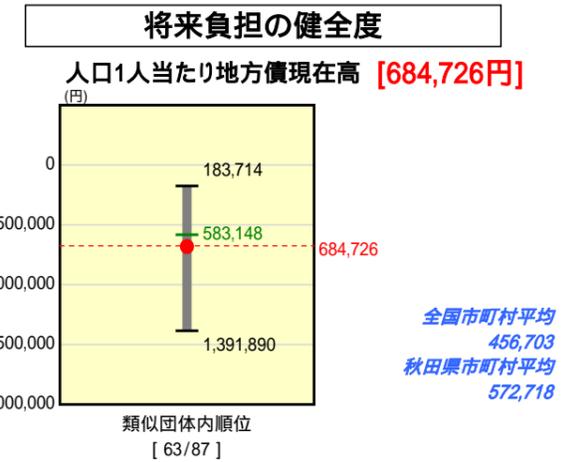
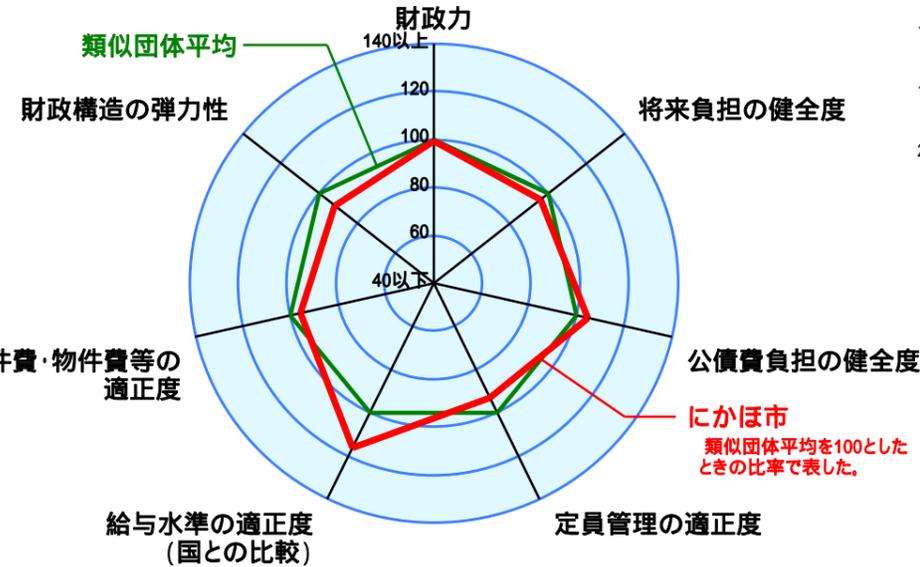
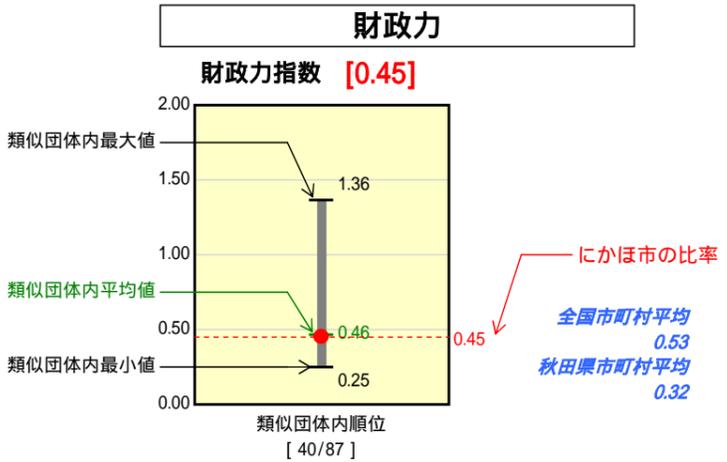


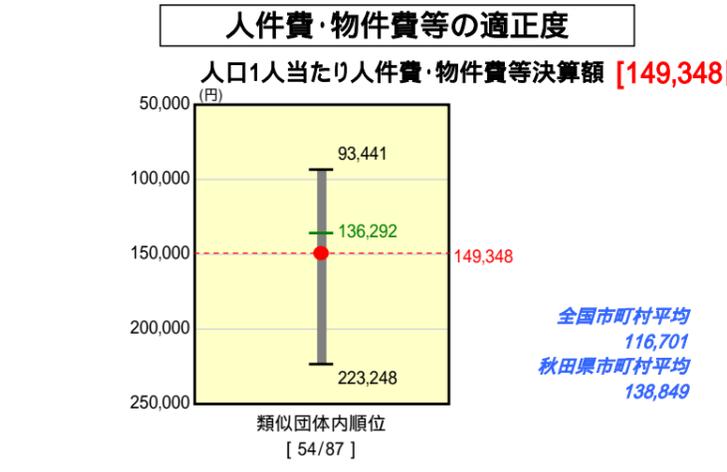
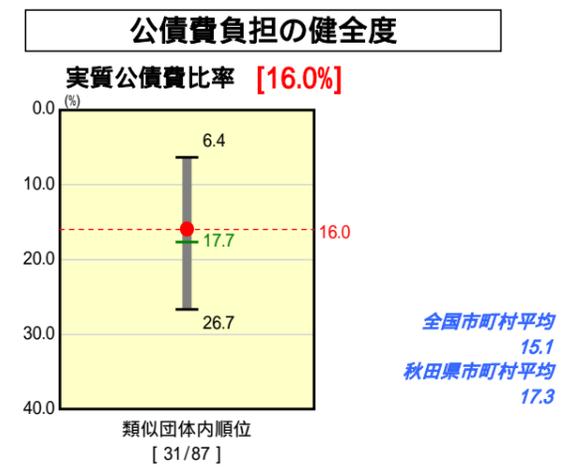
市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

秋田県 にかほ市

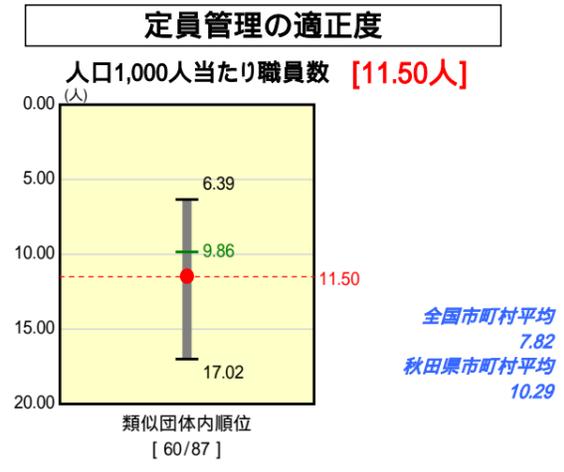
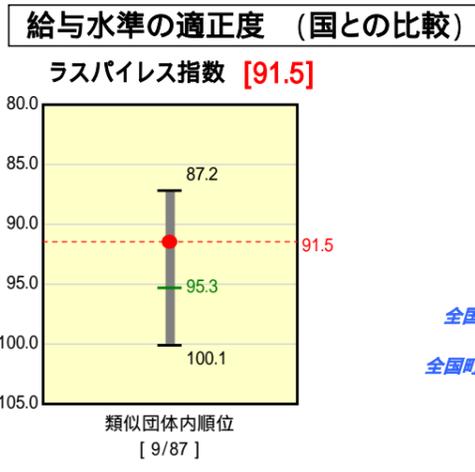
人口	29,118人	(H19.3.31現在)
面積	240.61	km ²
歳入総額	14,146,890	千円
歳出総額	13,730,950	千円
実質収支	410,940	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。



分析欄

【財政力指数】
 ・大型企業の修正申告等により平成17年度法人市民税が大幅に増収したことで、前年度と比較し0.06伸びてはいるが、類似団体平均を0.01下回っている。市税の増収については、修正申告による一時的なものが大きく、早期の景気回復が待たれるが、今後も更なる市税の徴収強化に取り組み、財政基盤の強化に努める。

【経常収支比率】
 ・類似団体平均を4.6%上回り、比率も95%を超えるなど、前年度と比較しても大幅に悪化している。比率の分子となる経常経費充当一般財源が前年度よりも減少(170,725千円: 2.0%)しており、本来であれば比率は下がるはずですが、比率の分母となる経常一般財源が大幅に減少(751,477千円: 8.1%)したことが比率の悪化した主な要因として考えられる。経常一般財源減少の要因としては、平成17年度の法人市民税が修正申告等で大幅に増収したことに伴う普通交付税の減額が主なもの、普通交付税の急激な減額は特殊なケースであり、平成19年度普通交付税は前年度比511,734千円の増額となり、県内市町村で最も高い伸び率(13.3%)となっている。今後は類似団体平均を上回らないよう経常経費の削減に努める。

【実質公債費比率】
 ・類似団体平均を1.7%下回っているが、全国市町村平均を0.9%上回っている。今後は公的資金補償金免除繰上償還制度の活用や任意の繰上償還を計画的に行い、公債費負担の健全化に努める。

【人口1人当たり地方債残高】
 ・人口の減少等もあり、類似団体平均を101,578円(17.4%)上回っているが、今後は予定されている大型事業以外の事業における地方債の発行を抑制するとともに、平成19年度から公的資金補償金免除繰上償還制度の活用や任意の繰上償還を計画的に行い、類似団体平均の水準になるよう努める。

【ラスパイレス指数】
 ・全国市平均を6.4、類似団体平均を3.8下回っており、今後も給与水準の適正化に努める。

【人口1,000人当たり職員数】
 ・類似団体平均を1.64人上回っているが、当市は消防職員を抱えており、類似団体の中には、広域消防組合(一部事務組合)に負担金(人件費含む)を支出している団体もあると思われるので純粋な比較は難しいと思われる。しかしながら、今後も「にかほ市行財政改革大綱」、「にかほ市集中改革プラン」に基づき、一般職員については、退職者の3分の1の新規採用とし、定員管理の適正化に取り組む。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】
 ・類似団体平均を13,056円(9.6%)上回っているが、前年度と比較すると23,381円(13.5%)減額となっており、類似団体平均に近づいている。今後も「にかほ市行財政改革大綱」、「にかほ市集中改革プラン」に基づき、合併効果であるスケールメリットを活かしながら、より一層、経費削減に努める。